

## 第7回新潟ニュービジネス大賞表彰制度(実施結果報告書)

---

大賞：エンゼル・ひまわりグループ（南魚沼郡湯沢町）  
「リゾート不動産のシェアリング事業によるリゾートの再生」

### [受賞理由]

越後湯沢のポテンシャルを活かした「リゾート地新潟」発の事業であり、遊休物件であった地域資産の活用は社会性の高い意義あるものである。また、雇用拡大も含めた地域再活性化への熱意は地域への貢献度が非常に高く、大賞にふさわしいと評価された。

---

### (実施概要)

#### 1 目的

新潟地域にて新事業を展開している企業・団体等から応募を募り、事業の優秀性等を総合的に評価し、優秀者に対して表彰を行うことにより、新事業創出促進の一契機とし、新潟地域産業の活性化、経済の発展に資することを目的とする。

#### 2 主催

一般社団法人新潟ニュービジネス協議会 事業創造委員会(ニュービジネス大賞運営チーム)

#### 3 協賛

(株)大光銀行、(株)日本政策投資銀行新潟支店、愛宕商事(株)、(株)イタリア軒、(株)ウオシヨク、(株)NSGアカデミー、NSGグループ、コニカミノルタNC(株)、(株)ジェイ・エス・エス、(株)事業創造サポート、(株)新宣、(株)鈴木コーヒー、(株)ソルメディエージ、(株)第一印刷所、つばさ税理士法人、(株)BSNアイネット、(株)プライムネット、マイコロジーテクノ(株)、(株)幻の酒

#### 4 後援

経済産業省関東経済産業局、(独)中小企業基盤整備機構関東本部、新潟県、新潟市、(一社)新潟県商工会議所連合会、新潟県商工会連合会、新潟県中小企業団体中央会、新潟経済同友会、新潟県中小企業家同友会、新潟日報社、日本経済新聞社新潟支局、(公社)日本ニュービジネス協議会連合会、(公財)新潟市産業振興財団、(公財)にいがた産業創造機構、新潟市異業種交流研究会(協)、新潟市ソフトウェア産業協議会、(協)新潟県異業種交流センター

#### 5 表彰対象

事業において、商品やサービスの製造、提供方法などに新規性、革新性があり、新潟地域の産業の活性化に寄与すると期待される企業、団体、個人に授与する。

最も評価の高い出場者を「大賞」とし、表彰状・賞金10万円と、副賞として「JNB ニッポン新事業創出大賞表彰制度」への応募推薦権利を授与する。また、大賞受賞者以外で JNB 表彰制度へ推薦するにふさわしいと評価された若干数を「入選」とし、応募推薦権利を授与する。

#### 6 審査基準

- ◇事業・活動の新規性、革新性
- ◇起業家精神
- ◇地域貢献、波及効果
- ◇事業の収益性、成長性、将来性
- ◇財務の健全性 など

7 応募方法

既定の応募申込書及び事業PR資料を事務局に提出

8 審査方法

一次審査 応募書類による審査(ニュービジネス大賞運営チームにて)

二次審査 面接・プレゼン審査

9 二次審査委員 (敬称略・氏名五十音順)

氏名	法人名役職
宇尾野 隆 (審査委員長)	(一社)新潟ニュービジネス協議会 会長
小林 弘樹	(株)大光銀行 地域産業支援部 部長
五月女 政義	事業創造大学院大学 教学担当副学長・研究科長・教授
高橋 秀之	新潟ベンチャーキャピタル(株) 会長 (新潟ニュービジネス協議会 国際ビジネス委員長)
長井 亮一	新潟市 経済部長
長谷川 雄一	新潟市異業種交流研究会協同組合 理事長
百合岡 雅博	(公財)新潟市産業振興財団 統括プロジェクトマネージャー

10 実施スケジュール

募集期間:2019年9月26日~2020年1月17日

一次審査:2020年1月30日(応募6社のうち、5社を二次審査へ)

二次審査:2020年3月17日(大賞1社、入選2社 選定)

結果発表:2020年6月2日のプレゼンテーション表彰式は中止のため、ホームページにて発表

11 入選

(1)株式会社バイオテックジャパン(阿賀野市)

「フィリピンでの包装米飯事業の可能性」

展開国の味覚に合わせたレシピ作成なども含め、全体をシステムとして見た場合に先進性に富んでいる。

フィリピンの工場(生産拠点)を活かしつつ、市場を開拓していく取り組みを評価。

(2)株式会社プラントフォーム(長岡市)

「アクアポニックスとデータセンターの余熱による有機栽培の安定&大量生産」

データセンターのエネルギーを活用した次世代循環型農業への新たな取り組みであることを評価。

以上